

# 水田土壌の管理について

## ジャンボタニシの対策をしましょう！

### 耕うんする

ジャンボタニシは気温14度以下になると土の中の浅いところ(5cm未満)で越冬します。土壌が乾燥して固い厳寒期に耕うんし、土中で越冬しようとしている貝を砕いたり、寒気にさらして死滅させましょう。



写真：農林水産省HP 防除対策リーフレット  
【秋冬編】ジャンボタニシによる水稻の被害を防ぐために  
より引用

### ポイント

- 深さは4~5cmほどで浅めに
- ロータリーの回転は速めに
- 移動速度はゆっくり

### 水路の泥上げをする

水路内の泥の中でもジャンボタニシは越冬します。泥上げをし、越冬場所をなくして貝を寒気にさらしましょう。一部での取り組みは効果が薄いので、地域全体で取り組みましょう。

## 土づくりをしましょう！

春の耕うん時には土壌改良資材を施用し、土に養分を補給しましょう。

### 【おすすめ】の土壌改良資材

#### ケイ酸質資材

ケイ酸が不足すると、茎葉が軟弱になってカメムシなどの病害虫の被害を受けやすくなったり、倒れやすくなります。毎年ケイ酸を補給し、健全な稲をつくりましょう。



### ケイ酸の効果

- 丈夫な稲をつくる = 葉や茎が硬く強くなるため、倒伏しにくくなり、病害虫への抵抗力がつきます。
- 光合成する能力を高める = 茎葉が直立するので、日当たりが良くなり登熟が良くなります。

### ケイ酸質資材の例

とれ太郎  
3~4月頃に  
60~80kg/  
1反(10a)  
散布しすぎ  
込む。



### 含鉄資材

鉄分が不足すると、有害な硫化水素の害を受けやすくなります。硫化水素が発生すると、見た目には株元が黒くなる、分けつが遅いといった症状が出ます。根が傷んで生育が悪くなり、収量も落ちてしまいます。特に老朽化水田、排水不良の水田など養分が抜けやすい場所ではしっかりと鉄を補給し、根を守りましょう。



▲水稲の株元が黒くなっている様子  
こうなった場合、一度落水しガスを抜く

### 含鉄資材の例

ニュー  
エコ鉄ちゃん  
3~4月頃に  
100~200kg/  
1反(10a)散布  
しすぎ込む。



【営農生活部より】

## 防除配信サービスを開始しました!!

病害虫防除は発生前や発病初期の対応が大切です。組合員のみならず、作られる作物を守るため、タイムリーな情報をお届けしますので、お友だち登録をお願いいたします!

LINEのお友だち登録はこちら!

